

モバイル・マルチメディア時代に ふさわしい製品を創出する

テクノサド株式会社

代表取締役 棚田 正幸
〒952-1311 佐渡郡佐和田町大字八幡2122
TEL (0259) 52-5328 FAX (0259) 51-1031

業 種：電子部品製造
資 本 金：5,000万円
営業品目：携帯電話器用キーシート

世界中の人々の生活必需品となった携帯電話。機能性、デザイン性、品質は日々進化し、生産には高い技術力と受注対応の素早さが要求される。テクノサドでは、その携帯電話の主要部品であるキーシートを生産。同社の成長は著しく、1年間の増収率は151.54%と県内でトップ^{*}を誇る。春には、新工場も増設され、さらなる増産体制に向け、加速がかかる。(※2001年9月期～2002年8月期の決算：東京商工リサーチ新潟支店調査)

グローバルな視点で製品づくり

テクノサドは、携帯電話キーシートのリーディングカンパニー・サンアロー株式会社を通して、ノキアなど携帯電話の世界トップメーカー向けに生産する。工場は24時間、365日稼働体制。月平均200万個、ピーク時には280万個のキーシートが生産され、その製品の約8割はヨーロッパ、東南アジアなど海外へ輸出される。「工場が佐渡にあることについては全く問題はありません。世界で戦うために、いかに高い技術を持ち、高品質で効率よく量産できるかが勝負です」と棚田社長は言う。



▲世界のキーシートを生産

乾燥工程を短縮・コスト削減

1つのキーシートを作るにも、成形品に印刷、塗装、レーザー加工、UVコートなど、数多くの工程を経る。

特にキーシートは、全工程の内、乾燥工程が約90%を占める。テクノサドでは、黒塗装とシルバー塗装を同時に行うこと等で、乾燥時間の短縮、コスト削減に努めている。また、自社内にクリーンルームを完備、印刷機、レーザーマーカ―など最新鋭の設備も導入されている。

一方、製品の品質管理も徹底されている。8時間以上、100人以上の検査員が工程ごとに厳重な検査を行い、高品質を産出する。



▲一つ一つ製品を確認

今春、第二工場も完成

テクノサドは、一昨年(平成13年)に真野町に第一工場を新設。今年度(15年)春には、第二工場が増設され、さらなる量産体制に対応。これからのモバイル・マルチメディア時代にふさわしい付加価値の高い製品づくりに努めている。



▲新設された第一工場